



評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2 使用評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)伊藤興産札幌ビル	階数	地上6F地下1F
建設地	札幌市中央区大通西15丁目1番9、1番10	構造	S造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	50人
気候区分	2地域	年間使用時間	1,800時間/年
建物用途	物販店、病院	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2017年9月 予定	評価の実施日	2016年12月26日
敷地面積	560 m ²	作成者	
建築面積	439 m ²	確認日	2016年1月10日
延床面積	2,503 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.8

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.7

3 設計上の配慮事項

総合 ・患者に「心と体のいやし」を、スタッフには「機能的な作業環境」を提供し、お互いがhospitalityを得られる環境にする。具体的には①地域のシンボル②ゆとりのある空間③患者とスタッフの動線分離		A 省エネルギー ・北面大通りに面した待合空間は、カーテンウォールにより屋光が十分に得られるとともに、Low-eガラスにより、十分な断熱性を確保している ・空調室外機に高効率型、換気設備に全熱交換器を採用。
B 省資源等 ・S造における乾式工法により、建物解体の際も容易にしている ・地下の既存躯体を利用し、省資源に配慮している。 ・節水型の衛生器具を採用。	C 緑化 ・商業エリアにより、緑化は確保していない	D 雪処理 ・道路に面した部分、及び敷地内通路は融雪ヒーターを施し、利用者に配慮しているとともに、敷地外に雪を出さない配慮を行っている ・ルーフヒーティングを設置し、雪が来ないよう配慮した

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される